

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項は発生しておりません。また、第16期有価証券報告書（平成29年6月20日提出）に記載した「事業等のリスク」に重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の締結は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

以下の記載における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

① 経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移しました。長期金利から中長期の予想物価上昇率を差し引いた実質長期金利はマイナスで推移しており、金融環境はきわめて緩和した状態にあります。

こうした環境の下、当第1四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益30,963百万円、経常利益9,904百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益6,774百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益28,907百万円、経常利益10,696百万円、四半期純利益7,375百万円となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
経常収益	30,427	30,963	1.7
経常利益	9,415	9,904	5.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,396	6,774	5.9

・セブン銀行ATMサービス

当第1四半期連結累計期間も、セブン&アイHLDGS.のグループ各社内外へのATM設置推進等により、ATMをご利用いただくお客さまの利便性向上に努めました。この結果、平成29年6月末現在のATM設置台数は23,553台（前事業年度末比0.7%増）となりました。また、当第1四半期連結累計期間のATM1日1台当たり平均利用件数は95.7件（前第1四半期連結累計期間比1.7%減）、総利用件数は203百万件（同2.0%増）と推移いたしました。

なお、平成29年6月末現在の提携金融機関等は、601社^(注)となりました。

(注) JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

・セブン銀行金融サービス

平成29年6月末現在、個人のお客さまの預金口座数は1,732千口座（前事業年度末比2.5%増）、預金残高は3,995億円（同0.6%増）となりました。個人向けローンサービスの残高は211億円（同6.8%増）となりました。

海外送金サービスは外国籍のお客さまを中心に契約口座数・送金件数ともに順調に増加し、当第1四半期連結累計期間の送金件数は255千件（前第1四半期連結累計期間比10.4%増）となりました。

・連結子会社

北米における当社連結子会社のFCTI, Inc. の平成29年3月末現在の運営ATM台数は5,829台となりました。また、FCTI, Inc. の連結対象期間（平成29年1～3月）の業績は、経常収益17.8百万米ドル、経常利益△3.5百万米ドル、四半期純利益△2.2百万米ドルとなりました。

また、インドネシアにおける当社連結子会社のPT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、ATM設置を推進し、平成29年3月末の設置台数は127台となっております。

国内の当社連結子会社株式会社バンク・ビジネスファクトリーは、当社からの事務受託に加え、他金融機関からの事務受託事業を展開し、平成29年6月末時点での外部事務受託先は6社となりました。

②財政状態に関する分析

総資産は984,910百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が698,125百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が72,112百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるATM仮払金が116,908百万円となっております。

負債は785,525百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は588,365百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は249,849百万円、定期預金残高は149,658百万円となっております。

純資産は199,384百万円となりました。このうち利益剰余金は133,208百万円となっております。

	前連結会計年度 (百万円) (A)	当第1四半期連結会計期間 (百万円) (B)	増減(百万円) (B) - (A)
総資産	957,792	984,910	27,118
負債	758,710	785,525	26,815
純資産	199,081	199,384	303

③国内・海外別収支

当第1四半期連結累計期間の資金運用収支は、前第1四半期連結累計期間比204百万円増加し614百万円、役員取引等収支は同331百万円増加し24,160百万円、その他業務収支は同3百万円増加し59百万円となりました。

種類	期別	国内	海外	相殺消去額 (△)	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
資金運用収支	前第1四半期連結累計期間	414	△3	—	410
	当第1四半期連結累計期間	612	2	—	614
うち資金運用収益	前第1四半期連結累計期間	663	5	—	668
	当第1四半期連結累計期間	802	4	—	807
うち資金調達費用	前第1四半期連結累計期間	249	8	—	258
	当第1四半期連結累計期間	190	2	—	192
役員取引等収支	前第1四半期連結累計期間	23,174	654	—	23,829
	当第1四半期連結累計期間	23,511	649	—	24,160
うち役員取引等収益	前第1四半期連結累計期間	27,476	2,140	—	29,617
	当第1四半期連結累計期間	28,036	2,053	—	30,090
うち役員取引等費用	前第1四半期連結累計期間	4,301	1,486	—	5,787
	当第1四半期連結累計期間	4,525	1,404	—	5,929
その他業務収支	前第1四半期連結累計期間	53	2	—	55
	当第1四半期連結累計期間	59	—	—	59
うちその他業務収益	前第1四半期連結累計期間	53	2	—	55
	当第1四半期連結累計期間	59	—	—	59
うちその他業務費用	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—

(注) 1. 「国内」とは、当社及び国内に本店を有する連結子会社（以下、「国内連結子会社」という。）であります。

2. 「海外」とは、海外に本店を有する連結子会社（以下、「海外連結子会社」という。）であります。

3. 特定取引収支はありません。

④国内・海外別役務取引の状況

当第1四半期連結累計期間の役務取引等収益は、A T M関連業務28,509百万円及び為替業務621百万円等により合計で前第1四半期連結累計期間比473百万円増加し30,090百万円となりました。役務取引等費用は、A T M関連業務5,174百万円及び為替業務344百万円等により合計で同142百万円増加し5,929百万円となりました。

種類	期別	国内	海外	相殺消去額 (△)	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
役務取引等収益	前第1四半期連結累計期間	27,476	2,140	—	29,617
	当第1四半期連結累計期間	28,036	2,053	—	30,090
うち預金・貸出業務	前第1四半期連結累計期間	28	—	—	28
	当第1四半期連結累計期間	32	—	—	32
うち為替業務	前第1四半期連結累計期間	564	—	—	564
	当第1四半期連結累計期間	621	—	—	621
うちA T M関連業務	前第1四半期連結累計期間	25,991	2,140	—	28,132
	当第1四半期連結累計期間	26,455	2,053	—	28,509
役務取引等費用	前第1四半期連結累計期間	4,301	1,486	—	5,787
	当第1四半期連結累計期間	4,525	1,404	—	5,929
うち為替業務	前第1四半期連結累計期間	325	—	—	325
	当第1四半期連結累計期間	344	—	—	344
うちA T M関連業務	前第1四半期連結累計期間	3,679	1,414	—	5,093
	当第1四半期連結累計期間	3,798	1,376	—	5,174

(注) 1. 「国内」とは、当社及び国内連結子会社であります。

2. 「海外」とは、海外連結子会社であります。

⑤国内・海外別預金残高の状況

○ 預金の種類別残高（末残）

種類	期別	国内	海外	相殺消去額 (△)	合計
		金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）
預金合計	前第1四半期連結会計期間	569,625	—	—	569,625
	当第1四半期連結会計期間	588,365	—	—	588,365
うち流動性預金	前第1四半期連結会計期間	314,179	—	—	314,179
	当第1四半期連結会計期間	350,689	—	—	350,689
うち定期性預金	前第1四半期連結会計期間	255,272	—	—	255,272
	当第1四半期連結会計期間	237,519	—	—	237,519
うちその他	前第1四半期連結会計期間	173	—	—	173
	当第1四半期連結会計期間	157	—	—	157
譲渡性預金	前第1四半期連結会計期間	800	—	—	800
	当第1四半期連結会計期間	800	—	—	800
総合計	前第1四半期連結会計期間	570,425	—	—	570,425
	当第1四半期連結会計期間	589,165	—	—	589,165

(注) 1. 「国内」とは、当社及び国内連結子会社であります。

2. 「海外」とは、海外連結子会社であります。

3. 流動性預金＝普通預金

4. 定期性預金＝定期預金

⑥国内・海外別貸出金残高の状況

○ 業種別貸出状況（末残・構成比）

業種別	前第1四半期連結会計期間		当第1四半期連結会計期間	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
国内	17,083	100.00	21,187	100.00
個人	17,083	100.00	21,187	100.00
その他	—	—	—	—
合計	17,083	—	21,187	—

(注) 「国内」とは、当社及び国内連結子会社であります。また、海外の貸出金期末残高はありません。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい増減はありません。

(5) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。また、前連結会計年度末において計画中であった重要な設備計画に著しい変更はありません。